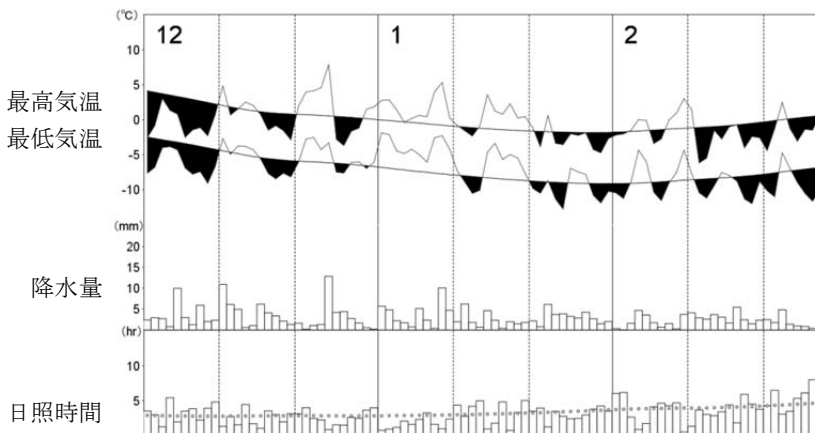


1. 今冬の概要『並温・多雨(少雪)・寡照』  
「積雪の道内記録48年ぶり更新」

冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪や雨の降った日が多く、12月25~27日は発達した低気圧の通過とその後の強い冬型の気圧配置で大荒れの天気となり、広い範囲で強風や大雪による住家の損壊や交通障害などが発生した。また、12月上旬に低温が続いたことや1月以降に北海道西岸で低気圧が度々停滞するなどして、日本海側や太平洋側西部で積雪の深さが平年に比べかなり大きくなった所もあった。

(1) 気温

12月は月上旬の記録的低温などにより、月平均気温は低かった。1月は月上旬の気温が歴代1位の高温になるなど、月平均気温は高かった。2月は中旬以降に平年を下回る日が多く、月平均気温は低かった。冬の平均気温は平年差-0.2℃で平年並だった。なお、アメダス地点における冬の最低気温は、1月25日に強い寒気が流れ込み、喜茂別で氷点下31.3℃を観測した。



第1図 2018年の冬(12~2月)の日々の気象経過(北海道22地点平均)

(2) 降水量(降雪量)

冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪や雨の降った日が多く、12~2月の各月とも降水量は平年より多かった。このため、冬の降水量の平年比は114%で多かったが、1月上旬の高温などで冬の降雪量の平年比は96%と少なかった。しかし、積雪が平年を大きく上回った所があり、幌加内町幌加内では最深積雪が324cmとなって、道内の観測史上1位の値を48年ぶりに更新した。

(3) 日照時間

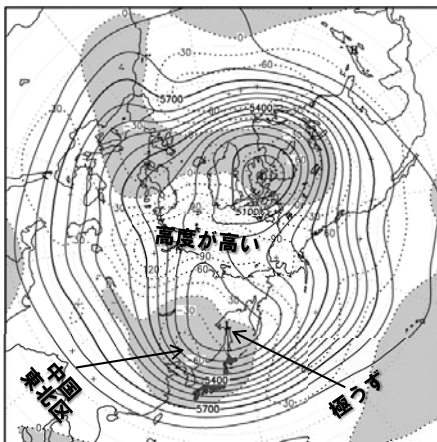
1月は冬型の気圧配置や低気圧の影響で月上旬の日照時間が1961年の統計開始以降最も少なく、月間日照時間もかなり少なかったため、冬の日照時間の平年比は90%と少なかった。

2. 大気の流れから見た特徴

500hPa天気図：極域の高度が高く、中緯度に寒気が南下する、負の北極振動が卓越し、東シベリアからオホーツク海に極うず\*が停滞しやすかった。ユーラシア大陸北部では偏西風の蛇行が大きく、中国東北区を中心に負偏差となって、北海道の上空には強い寒気が度々入った。

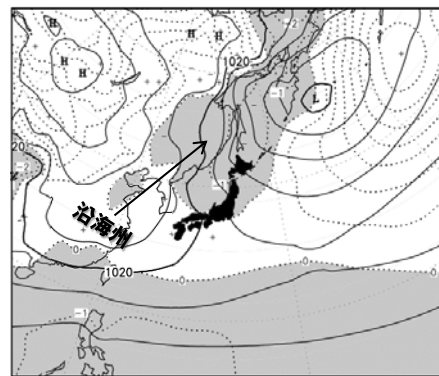
\*極うず：極を中心として上空約5~50kmにかけてできる非常に気温の低い大気の渦。

地上天気図：沿海州から北日本にかけて平年に比べ気圧が低かった。冬型の気圧配置となる日もあったが、低気圧が北海道付近を通過することが多かった。また、低気圧が北海道西岸で停滞する時期も度々あった。



第2図 a 冬平均の500hPa天気図

実線：等高線(m)、点線：高度の平年偏差(m)  
陰影部は、平年より高度の低い負偏差の領域を示す。この領域では平年より気温が低い傾向がある。  
日本の上空では、風は等高線に沿って西から東へ吹いている。等高線が南北に波打っている状態は偏西風が蛇行していることを、等高線の間隔が狭い所では偏西風が強くなることを示す。

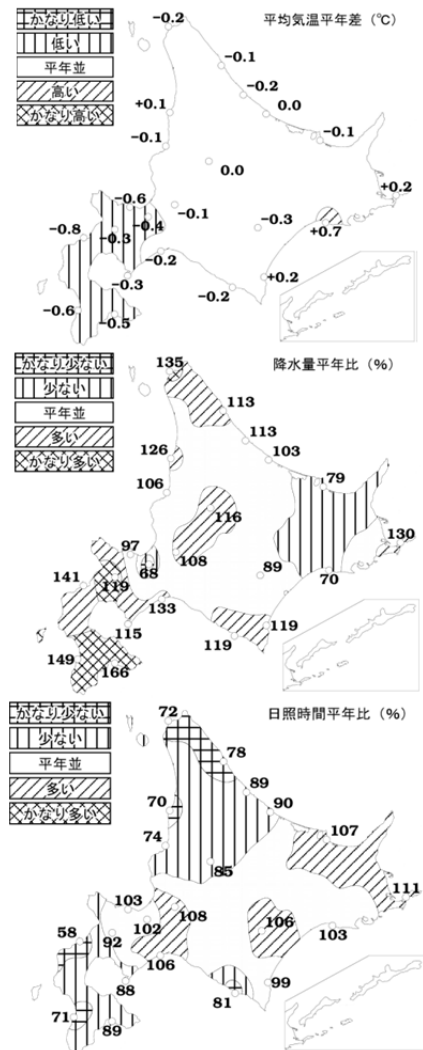


第2図 b 冬平均の地上天気図

実線：等圧線(hPa)、点線：気圧の平年差(hPa)  
陰影部は平年より気圧が低いことを示す。この領域では、平年より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

第1表 北海道の主な22地点における冬の平均気温、降水量、日照時間と平年差(比)

官署名	今冬			平年差・平年比(階級)		
	気温 ℃	降水量 mm	日照時間 h	気温 ℃	降水量 %	日照時間 %
稚内	-4.0	350.0	112.1	-0.2 (0)	135 (++)	72 (--)
北見枝幸	-5.1	278.5	202.3	-0.1 (0)	113 (+)	78 (--)
羽幌	-3.5	415.0	122.7	+0.1 (0)	126 (+)	70 (--)
雄武	-5.6	152.0	274.2	-0.2 (0)	113 (0)	89 (-)
留萌	-3.4	308.0	115.9	-0.1 (0)	106 (0)	74 (-)
旭川	-6.1	254.5	204.5	0.0 (0)	116 (+)	85 (-)
網走	-4.7	118.5	393.1	-0.1 (0)	79 (-)	107 (+)
小樽	-3.0	378.0	213.7	-0.6 (-)	97 (0)	103 (0)
札幌	-2.9	219.5	288.5	-0.4 (-)	68 (--)	102 (0)
岩見沢	-4.5	345.0	303.2	-0.1 (0)	108 (+)	108 (+)
帯広	-6.1	100.0	576.3	-0.3 (0)	89 (0)	106 (+)
釧路	-3.3	80.5	555.1	+0.7 (+)	70 (-)	103 (0)
根室	-2.6	137.0	516.6	+0.2 (0)	130 (+)	111 (+)
寿都	-2.3	436.5	61.2	-0.8 (-)	141 (+)	58 (--)
室蘭	-1.4	186.5	251.8	-0.3 (-)	115 (+)	88 (-)
苫小牧	-3.0	167.0	432.5	-0.2 (0)	133 (+)	106 (+)
浦河	-1.8	134.5	335.5	-0.2 (0)	119 (+)	81 (--)
江差	-0.5	362.0	90.2	-0.6 (-)	149 (++)	71 (--)
函館	-2.1	367.0	282.2	-0.5 (-)	166 (++)	89 (-)
倶知安	-5.0	607.5	144.3	-0.3 (-)	119 (++)	92 (0)
紋別	-4.7	132.0	288.6	0.0 (0)	103 (0)	90 (-)
広尾	-3.2	251.0	461.5	+0.2 (0)	119 (+)	99 (0)
<b>北海道22地点平均</b>				-0.2 (0)	114 (+)	90 (-)
日本海側10地点平均				-0.3 (0)	117 (+)	84 (-)
オホーツク海側4地点平均				-0.1 (0)	102 (0)	91 (-)
太平洋側8地点平均				0.0 (0)	118 (+)	98 (0)



第3図 冬(12~2月)の平年差(比)の分布図

注) 括弧付きの値は欠測を含み、×は欠測を示す。

階級は、+は高い・多い(++はかなり高い・多い)、0は平年並、-は低い・少ない(--はかなり低い・少ない)

第2表 月別、旬別の全道および地域平均の平均気温、降水量、日照時間と平年差(比)と階級

(か→かなり、並→平年並 をそれぞれ示す。)

北海道全域

	12月上旬	12月中旬	12月下旬	12月	1月上旬	1月中旬	1月下旬	1月	2月上旬	2月中旬	2月下旬	2月
気温	-3.4 低	-0.2 並	+0.8 並	-0.9 低	+2.8 高	+1.6 高	-0.8 低	+1.1 高	+0.7 並	-1.4 低	-1.9 低	-0.8 低
降水	112 多	133 多	95 並	113 多	136 多	94 並	119 多	117 多	149 多	145 多	68 並	114 多
日照	110 多	86 少	89 少	95 並	53 少	108 多	76 少	79 少	98 並	77 少	115 多	95 並

日本海側

	12月上旬	12月中旬	12月下旬	12月	1月上旬	1月中旬	1月下旬	1月	2月上旬	2月中旬	2月下旬	2月
気温	-3.5 低	-0.2 並	+0.6 並	-1.0 低	+2.9 高	+1.6 高	-1.2 低	+1.0 高	+0.5 並	-1.5 低	-2.2 低	-1.0 低
降水	116 多	139 多	106 並	120 多	125 多	110 並	133 多	123 多	69 少	148 多	100 並	105 並
日照	101 並	83 並	83 少	90 並	44 少	116 多	51 少	70 少	120 多	56 少	100 並	91 少

オホーツク海側

	12月上旬	12月中旬	12月下旬	12月	1月上旬	1月中旬	1月下旬	1月	2月上旬	2月中旬	2月下旬	2月
気温	-3.8 低	0.0 並	+1.2 高	-0.8 低	+2.8 高	+1.5 高	0.0 並	+1.4 高	+0.2 並	-1.2 低	-1.5 低	-0.8 並
降水	72 並	127 多	43 少	78 少	162 多	88 並	110 並	115 多	168 多	149 多	75 並	127 多
日照	109 多	78 少	76 少	88 少	34 少	121 多	86 少	82 少	85 並	95 並	124 多	101 並

太平洋側

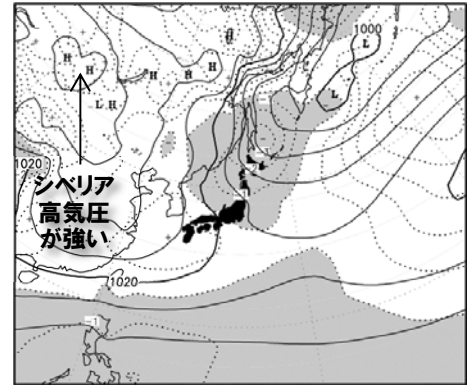
	12月上旬	12月中旬	12月下旬	12月	1月上旬	1月中旬	1月下旬	1月	2月上旬	2月中旬	2月下旬	2月
気温	-3.2 低	-0.2 並	+0.8 並	-0.8 低	+2.6 高	+1.8 高	-0.7 低	+1.2 高	+1.3 高	-1.2 低	-1.8 低	-0.5 並
降水	127 多	130 多	109 並	121 多	135 多	76 並	106 多	110 並	238 多	139 多	25 少	119 多
日照	122 多	93 並	103 並	106 並	75 少	92 少	102 並	91 少	78 少	94 少	129 多	99 並

### 3. 月毎の気象

#### (1) 12月『低温・多雨（多雪）・並照』 25～27日に記録的暴風、各地で被害

**気象経過：**この期間の天気は、低気圧の通過やその後の冬型の気圧配置で日本海側を中心に雪や雨の降った日が多かったが、オホーツク海側南部や太平洋側では晴れた日が多かった。25～27日は発達した低気圧の通過とその後の強い冬型の気圧配置で大荒れの天気となり、強風や大雪による住家の損壊や交通障害などが発生した。

**地上天気図：**西シベリアから東シベリアにかけて広い範囲で気圧が高く、シベリア高気圧が強かった。北海道付近は気圧が低く、低気圧が北海道付近を通過することが多く、通過後は冬型の気圧配置が強まりやすかった。



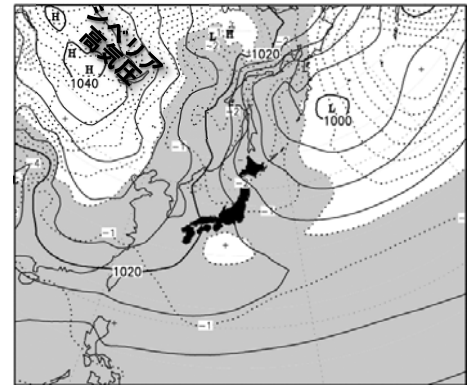
第4図 12月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

#### (2) 1月『高温・多雨（少雪）・寡照』 暖気流れ込み上旬は歴代1位の高温

**気象経過：**この期間の天気は、上旬と下旬は冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪や雨の降った日が多く、急速に発達する低気圧の通過やその後の強い冬型の気圧配置により大荒れの天気となった日もあった。中旬の天気は短い周期で変わり、12日は低気圧の影響により渡島半島で記録的な大雪となった所があった。

**地上天気図：**中央シベリアでは平年より気圧が高く、シベリア高気圧は中心付近で強かったが、大陸東岸から日本付近にかけては平年より気圧が低かった。このため、北海道付近では冬型の気圧配置となる日が少なく、低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかった。また、低気圧が北海道西岸で停滞することが多かったため、南から暖かい空気が入りやすかった。



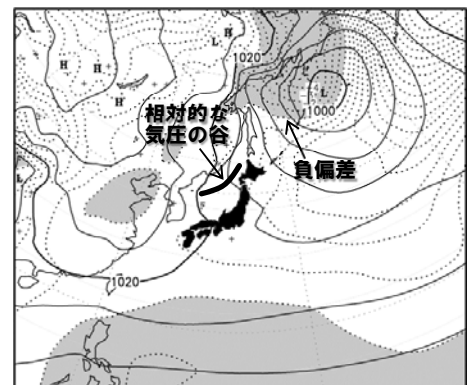
第5図 1月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

#### (3) 2月『低温・多雨（並雪）・並照』 幌加内の積雪深、道内記録を48年ぶりに塗り替える

**気象経過：**この期間の天気は、上旬は太平洋側を中心に低気圧や気圧の谷の影響を受けて雪や雨の降った日が多く、5日は大雪となった所もあった。中旬と下旬は冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪の降った日が多く、17日と23～24日は発達した低気圧の影響で大荒れの天気となった所もあった。また、積雪の深さが平年を大きく上回った所では交通障害等が発生した。幌加内町幌加内では最深積雪が324cmに達して、1970年に倶知安で記録した北海道内の観測史上1位の値(312cm)を更新した。

**地上天気図：**北海道の南西海上が相対的な気圧の谷となっており、この付近に低気圧が停滞する時期があった。また、カムチャツカ半島付近が負偏差となっており、低気圧が停滞して冬型の気圧配置が続く時期もあった。



第6図 2月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

#### 4. 今冬の主な記録

##### (1) 今冬に観測された統計開始以来3位までの記録

**第3表 今冬に観測された統計開始以来3位までの記録（北海道の主な22地点）**

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
12月	降雪の深さ月合計値(多い)	第3位	函館	155 cm	180 %	183 (1973)	1953
1月	降雪の深さ月合計値(多い)	第3位	寿都	210 cm	124 %	219 (1977)	1953
	月平均気温(高い)	第3位	釧路	-3.2 ℃	2.2 ℃	-2.1 (2009)	1910
	月間日照時間(少ない)	第2位	寿都	8.5 h	29 %	7.8 (1926)	1901
2月	降雪の深さ月合計値(多い)	第3位	函館	143 cm	159 %	168 (2012)	1953
12-2月	3か月間日照時間(少ない)	第2位	寿都	61.2 h	58 %	53.7 (1929)	1901
	降雪の深さ3か月間合計値(多い)	第1位	函館	429 cm	146 %	367 (2006)	1954
		第2位	寿都	481 cm	113 %	523 (2006)	1954

注) 今冬の記録が2位および3位の場合における「これまでの1位」は、3月1日現在も1位となる。

##### (2) 今冬の降雪量と最深積雪

**第4表 2018年の冬(12~2月)の降雪量・最深積雪(cm)**

	12月			1月			2月			冬合計			冬最深積雪		
	降雪量	平年	比(階級)	降雪量	平年	比(階級)	降雪量	平年	比(階級)	降雪量	平年	比(階級)	降雪量	平年	比
稚内	163	160	102% (0)	171	173	99% (0)	103	143	72% (-)	437	478	91% (0)	80	78	103%
北見枝幸	160	161	99% (0)	195	166	117% (+)	122	125	98% (0)	477	455	105% (0)	131	103	127%
羽幌	177	172	103% (0)	201	198	102% (0)	108	150	72% (-)	486	519	94% (-)	124	101	123%
雄武	68	113	60% (-)	117	124	94% (0)	97	95	102% (0)	282	335	84% (-)	69	67	103%
留萌	187	170	110% (0)	160	197	81% (-)	129	156	83% (-)	476	523	91% (-)	135	86	157%
旭川	189	189	100% (0)	114	174	66% (-)	104	131	79% (-)	407	497	82% (-)	87	91	96%
網走	70	85	82% (-)	80	105	76% (-)	55	81	68% (-)	205	271	76% (-)	63	55	115%
小樽	162	156	104% (0)	182	194	94% (0)	106	156	68% (-)	450	507	89% (-)	134	120	112%
札幌	102	132	77% (-)	147	173	85% (-)	78	147	53% (-)	327	456	72% (-)	80	99	81%
岩見沢	231	200	116% (+)	159	207	77% (-)	151	160	94% (0)	541	570	95% (-)	132	122	108%
帯広	63	47	134% (+)	47	59	80% (0)	41	37	111% (+)	151	141	107% (+)	68	62	110%
釧路	22	27	81% (0)	19	44	43% (-)	28	34	82% (0)	69	104	66% (-)	14	33	42%
根室	21	36	58% (-)	29	62	47% (-)	51	55	93% (0)	101	152	66% (-)	28	29	97%
寿都	131	121	108% (0)	210	169	124% (++)	140	134	104% (0)	481	426	113% (+)	107	73	147%
室蘭	51	38	134% (+)	48	65	74% (0)	57	56	102% (0)	156	159	98% (0)	29	25	116%
苫小牧	43	27	159% (+)	63	39	162% (+)	43	39	110% (0)	149	104	143% (+)	42	28	150%
浦河	28	32	88% (0)	36	48	75% (-)	62	37	168% (+)	126	118	107% (0)	19	21	90%
江差	75	71	106% (+)	119	113	105% (+)	92	88	105% (0)	286	273	105% (0)	51	31	165%
函館	155	86	180% (++)	131	118	111% (0)	143	90	159% (++)	429	293	146% (++)	82	43	191%
倶知安	324	252	129% (++)	259	291	89% (-)	202	226	89% (0)	785	770	102% (0)	222	187	119%
紋別	76	104	73% (-)	116	128	91% (0)	96	102	94% (0)	288	334	86% (-)	61	56	109%
広尾	76	75	101% (0)	120	123	98% (0)	92	94	98% (0)	288	290	99% (0)	94	85	111%
北海道平均			105% (+)			90% (-)			96% (0)			96% (-)			117%
日本海側			106% (0)			92% (-)			82% (-)			93% (-)			121%
ホツ海側			79% (-)			95% (0)			91% (0)			88% (-)			114%
太平洋側			117% (+)			86% (-)			116% (+)			104% (0)			113%

注) 「 ) 」付きの値は欠測を含む。「 ] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含み、平年比が算出できないことを示す。  
階級は、+は高い・多い(++はかなり高い・多い)、0は平年並、-は低い・少ない(--はかなり低い・少ない)

(3) 長期積雪の初日と真冬日の日数

第5表 長期積雪の初日

官署名	長期積雪(根雪)の初日		
	本年	平年差	昨年差
稚内	11月15日	11日早い	15日遅い
旭川	11月15日	7日早い	17日遅い
網走	12月4日	1日遅い	12日遅い
札幌	11月18日	16日早い	18日早い
帯広	11月18日	22日早い	18日早い
釧路	1月1日	2日遅い	23日遅い
室蘭	11月30日	25日早い	22日早い
函館	11月19日	27日早い	26日早い

\* 本年とは寒候年

(2017年8月～2018年7月)をさす

第6表 真冬日の日数

	12月			1月			2月			冬		
	日数	平年値	平年差	日数	平年値	平年差	日数	平年値	平年差	日数	平年値	平年差
稚内	19	15.2	+3.8	20	23.8	-3.8	23	22.1	+0.9	62	61.2	+0.8
北見枝幸	20	17.2	+2.8	24	25.2	-1.2	26	22.8	+3.2	70	65.3	+4.7
羽幌	16	12.0	+4.0	16	21.5	-5.5	23	18.1	+4.9	55	51.7	+3.3
雄武	17	16.0	+1.0	25	25.0	0.0	25	22.0	+3.0	67	63.2	+3.8
留萌	15	10.9	+4.1	15	20.8	-5.8	22	17.4	+4.6	52	49.1	+2.9
旭川	24	19.0	+5.0	27	25.6	+1.4	24	20.4	+3.6	75	65.3	+9.7
網走	17	14.0	+3.0	22	24.3	-2.3	23	22.1	+0.9	62	60.5	+1.5
小樽	16	10.4	+5.6	14	18.3	-4.3	20	15.0	+5.0	50	43.8	+6.2
札幌	14	9.0	+5.0	15	17.4	-2.4	19	14.0	+5.0	48	40.4	+7.6
岩見沢	20	15.0	+5.0	20	22.8	-2.8	22	18.4	+3.6	62	56.4	+5.6
帯広	16	12.1	+3.9	20	22.5	-2.5	20	16.8	+3.2	56	51.6	+4.4
釧路	6	6.9	-0.9	11	17.8	-6.8	15	15.0	0.0	32	39.7	-7.7
根室	11	8.7	+2.3	16	19.7	-3.7	21	19.8	+1.2	48	48.2	-0.2
寿都	15	8.5	+6.5	14	15.9	-1.9	17	13.7	+3.3	46	37.9	+8.1
室蘭	10	6.4	+3.6	11	14.1	-3.1	11	12.2	-1.2	32	32.7	-0.7
苫小牧	7	6.5	+0.5	8	14.4	-6.4	13	11.2	+1.8	28	32.0	-4.0
浦河	6	5.0	+1.0	6	11.9	-5.9	15	9.8	+5.2	27	26.6	+0.4
江差	5	3.8	+1.2	10	9.7	+0.3	10	8.1	+1.9	25	21.6	+3.4
函館	16	6.1	+9.9	10	12.3	-2.3	12	8.9	+3.1	38	27.2	+10.8
倶知安	19	15.4	+3.6	21	23.2	-2.2	22	18.5	+3.5	62	57.2	+4.8
紋別	18	15.1	+2.9	24	24.6	-0.6	24	21.6	+2.4	66	61.3	+4.7
広尾	5	7.8	-2.8	14	18.0	-4.0	18	16.6	+1.4	37	42.5	-5.5

5. 今冬に発表した、天候に関わる気象情報※

なし

※ ここでの「気象情報」は、平年から大きくかけ離れた気象状況が数日間以上続き、社会的に大きな影響が予想される  
ときなどに発表する情報を指します。

問い合わせ先: 札幌管区気象台地球環境・海洋課  
電話: 011(611)6174